

平成 29 年度 学校経営方針

八戸市立町畑小学校

校長 蔦林 洋司

1 基本方針

日本国憲法及び教育基本法に基づき

- 人権尊重の精神を基調とし、豊かな心を持ち、自他の生命を尊重し
- よく考え、共に学び合い
- 心身ともに健康で、社会の一員としての自覚をもって行動できる児童の育成をめざし、教育目標と重点項目、並びに学校目標を定めます。

- (1) 子ども同士が学び合う授業をつくる。
- (2) 子どもが話し合い、企画・実行する児童活動（学級会・児童会・委員会）
- (3) 児童、保護者、教職員が互いの信頼関係を深めながら、それぞれの目標の達成に向けた教育実践を行う。

2 教育目標 心豊かにたくましく

- ### 3 努力目標
- すすんで学ぶ (知：学力)
 - みんなとなかよく (徳：人間関係)
 - めあてをもち元気よく (体：健康)

4 学校・児童・教師・保護者の目標

(1) めざす学校像

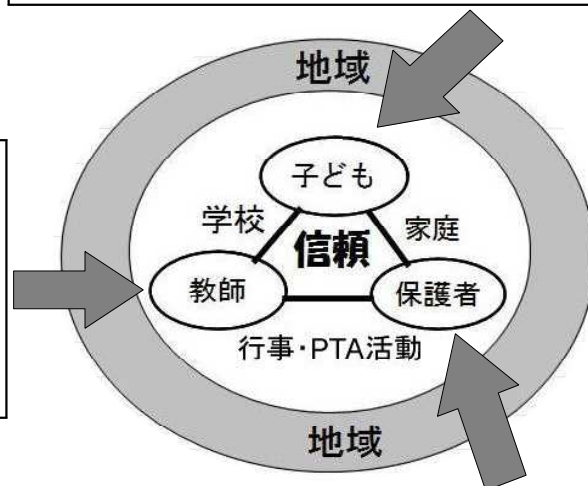
- 信頼され親しまれる学校
- 仲間がいっぱいの学校
- 学ぶ意欲がいっぱいの学校

(2) めざす子ども像「努力目標」

- すすんで学ぶ子
- みんなとなかよくする子
- めあてをもち元気よく活動する子

(3) めざす教師像

- 子どもの人権を尊重する教師
- 子ども一人一人を伸ばす教師
- 子どもと親と同僚から信頼される教師
- 資質向上に努める教師



(4) めざす保護者像

- 学校と一緒に子どもを育てる親
- 子どもと一緒に向上する親
- 行事に積極的に参加する親

5 経営の重点：努力目標の具現化

(1) 学 力

<確かな学力の定着と向上のための指導の工夫改善>

- 子どもが主体的に学ぶ授業づくり
 - * 自分の考えをもち、思考のずれについて学び合う【校内研修】
 - * 子ども同士が対話して考えを深める学習活動
 - * 安心感のある学級、多様な考えを引き出す教師
- 「町小学習スタンダード」を定着
 - * 学習の約束のスタンダード化（どの学級も共通した指導）
 - * 家庭学習の習慣化（家庭学習がんばり週間の活用）
 - * 読書量と質を高める読書活動の推進（課題図書、家庭と協力、学年目標冊数）
- 個に応じた指導と特別支援教育の充実
- 「わくわくタイム」総合的な学習の時間の充実（課題設定と情報発信）

(2) 人間関係

<自分や他人を大切にすると人権を尊重する教育の推進>

- 基本的生活習慣の徹底
(学校・地域・家庭でのあいさつ、言葉遣いの向上、きまりを守ること)
- 授業中、学習活動中のさん・くん付けの徹底
- 児童会活動〔代表委員会、委員会活動、縦割り班活動〕の充実
- 交流体験活動の継続（第一養護学校、敬老会、瑞光園、美保野小）
- 道徳の時間の充実（人とのよりよいかかわり方を向上させるSST）
- 生徒指導、教育相談の充実

(3) 健 康

<将来へつながる健康生活の推進>

- 町小体育スタンダードの取り組み継続
- マラソン、なわとびの継続と校内大会実施による体力・意欲の向上
- 給食指導と歯磨き指導の徹底
- 清掃指導の徹底
- 食育出前講座、口腔衛生検査の継続
- 学校保健委員会「すこやか会議」の継続
(地域密着型教育、地域の底力「プロジェクト健康家族町畑」への協力)